

神戸市立渦が森小学校 学校評価報告書

学校の目標	地域と連携し、つながる学校					
内容	重点的な取組み	評点 (4段階)	特記事項 (学校自己評価)	関係者評価 (学校自己評価に対する学校運営協議会の意見等)	学校自己評価、関係者評価を踏まえた次年度の重点的な取組みの案	
思いやりの心を持ち、たくましくのびる子						
育てたい子供の姿	自ら学ぶ子	GIGA端末の授業での効果的な活用促進 教科と関連させた図書活動の充実 タブレット等を利用した基礎学力向上	3	GIGA端末の利用率は大幅に向上。図書館教育は司書の尽力で単元に合わせた図書の紹介、書籍の準備など充実できた。タブレット利用で個に応じた学習機会を保障できた。	今の時代PCなしに学習を進めることは考え辛い。児童によってはゲーム替わりになっている子もいる。効果的に端末を活用して欲しい。図書館の充実がPTAも協力しより充実させてほしい。	GIGA端末は引き続き授業での活用を推進する 新しいタブレットドリルの活用を促す 教科と関連させた図書活動を続けるとともに低学年の図書の時間を重点的に充実させる
	やさしい子	異学年交流の活性化 道徳教育の充実 元気なあいさつの推進	3	大きな学校行事だけでなく日々の学習の中で異学年交流が盛んに行われた。道徳は担任持ち回りで指導し、指導力の向上にもつなげた。	異学年交流が盛んになったことは嬉しい。年代が近い子同士だから学べることもある。地域で見守りをしていても元気に挨拶できる子がいて嬉しい。以前行っていた渦っ子登山を検討して欲しい。	異学年交流は今年度の実績を振り返り、効果的な実践を継続する 感謝の気持ちを表す「ありがとう」があふれる学校づくりを目指す
	たくましい子	清掃活動の充実 基礎体力づくり	3	チャイムを切って自発的な掃除を始めるよう取り組んだ。体育の時間や運動会で行う活動をそのまま休み時間に取り入れて活動し、体力づくりに寄与した。	自発的な清掃活動の取組みは良い。子供たちに清掃の意義を教えて取り組ませてほしい。体力づくりは、冬季の長距離走活動など以前行っていたことが縮小されているように感じる。検討して欲しい。	まずは清掃の仕方を学ぶことに注力し、自発的な清掃につなげていく 体育の活動から日々の運動習慣につなげるよう促していく
全的に推進すべきこと	①いじめ防止対策に関する取組み	早期発見、関係機関を含む早期対応 いじめアンケートの定期実施 SC、SSW等との連携	3	些細なトラブルでも生徒指導担当を中心に情報共有を行い、方針決定したうえで早期に対処した。案件に応じてSCやSSWと連携して対処した。	昔に比べて問題行動を起こす子が増えたような気がする。入学式などでもじっとしていられない子が増えたと感じる。保護者にも理解を求めて学校とともに問題行動を減らす必要がある。	いじめアンケートは継続して実施 SC、SSW等と連携した組織的な対応を継続 いじめ問題検討委員会を定期的に実施する
	②不登校支援の取組み	不登校児童に対するこまめな連絡 オンライン授業や放課後登校、別室登校などの柔軟な受入体制の確保	3	担任が丁寧にコンタクトを続けて登校できるようになった児童もあった。児童の状況に応じてオンライン授業や放課後登校など柔軟な対応も行った。	一部のトラブルを起こす児童に手が取られ、一人ひとりのケアが手薄になっている感もある。繊細な子にも配慮できるようにして欲しい。	サポートルームを設置する 別室登校、放課後登校、オンライン授業など受入体制の確保と各自への提案を行う
	③教職員の業務改善	職員会の焦点化、部会委員会の充実など会議全体の見直し 校内に散在する資産の整理、廃棄 すぐるアンケート機能の活用	3	職員会は時間を決めて論点を絞った議論によりスリム化できた。すぐるアンケート機能を使って個別懇談会日時調整など、保護者との紙のやり取りを削減できた。	地域にも文書が出て神戸市の危機感が伝わってきた。教員志望の学生も教育実習で現場をみて断念するケースも多いと聞く。若い人に夢を与える職場を作ってほしい。	会議の進め方、時間の継続的見直し すぐるアンケート機能などICTを活用した業務の効率化を続ける 学校で行う業務、各家庭で行ってもらうことの切り分け
	④「すぐる」の活用、ホームページにおける情報発信	HPでの更新頻度向上 すぐるによる連絡配信、アンケート機能を使った情報収集	3	すぐるでは担任の日々の連絡とともに行事の詳細連絡など適宜配信した。アンケート機能も使って見守りの支援を募るなど活用できた。HPはレイアウトを刷新し情報を整理した。	HPがとても充実しており、日々の活動が学校にだけでなくよく分かる。行事予定や学校だより等掲載されていることを知らない保護者も多いと思う。広くPRしたら良い。	HPでの継続的な情報発信 HPの認知度向上のためのアナウンス すぐるによるタイムリーな情報発信
	⑤学校生活のルールや決まり(校則など)について	「よくわかる！渦が森小学校」の発行 児童・保護者ニーズに配慮したルール見直しの実施	3	年初に「よくわかる！渦が森小学校」を配布し1枚で大まかなルールを理解してもらえた。通学用バッグの許可など社会の趨勢をみながらルールの見直しも行った。	なぜそのルールがあるか背景の説明があれば理解も広がると思う。保護者が理解して子どもにも説明できるようにしておく必要がある。PTAからも情報発信できると良い。	「よくわかる！渦が森小学校」改訂版の発行 ルールの背景を説明し、児童・保護者の理解を促す

【評点】 4：十分達成できた 3：おおむね達成できた 2：どちらかと言えば課題がある 1：課題がある